

第 57 回教育研究評議会議事録

I 日 時 平成 20 年 11 月 20 日 (木) 14 時 00 分～15 時 00 分

II 出席者 議 長 岩崎学長

評議員 工藤、腰塚、田中、波多野、谷川、山田、水林、坪井、山田(秀)、赤平、田中(二)、田瀬、清水、中山、山田(宣)、北脇、堀、金井、吉田、海老原、大塚、阿江、西川、竹内、溝上、植松、井上、石田、菊地、五十殿、吉川、本澤、庄司、加賀、深水、板野

代理出席 大田教授(佐藤計算科学研究センター長代理)

III 議 題

[報 告]

- 1 大学教員の懲戒について ----- 【回収資料】〔報資料 1〕
- 2 平成 20 年度筑波大学補正予算の編成について----- 〔報資料 2〕
- 3 会計経理の適正な執行に係る点検マニュアル及びチェックリストについて----- 〔報資料 3〕
- 4 世界大学ランキングについて----- 〔報資料 4〕
- 5 速報つくばの Web 化について----- 〔報資料 5〕
- 6 筑波キャンパス CO₂ 排出量・エネルギー使用量実績(10 月分)について----- 〔報資料 6〕
- 7 中央図書館耐震改修工事(第二期)に伴う図書の利用制限について
- 8 平成 22 年度概算要求及び平成 21 年度公募型教育研究資金に係る
検討状況並びに平成 21 年度の学内予算要求について ----- 〔追加資料 1〕
- 9 セグメント情報の開示区分の拡大について----- 〔追加資料 2〕

IV 議 事

冒頭に、学長から、10 月 31 日(金)に開催された学長選考会議において、山田信博理事・附属病院長が次期学長予定者に決定した旨の報告があり、次いで、山田信博理事・附属病院長から挨拶があった。

また、学長から、天皇皇后両陛下並びにスペイン国王王妃両陛下のご来学に際しての教職員及び学生の協力に対して謝意が表された。

[報 告]

- 1 学長から、生命環境科学研究科長から大学教員の懲戒の発議があり、早急に処分を検討する必要があるため、11 月 13 日(木)開催の第 19 回運営会議において、事実関係の調査及び処分の検討を行うための調査委員会を以下の委員構成で設置した旨の報告があり、次いで、波多野副学長から、報告資料 1(回収資料)に基づき、事案の概要について報告があった。

(調査委員会委員)

波多野澄雄 副学長

腰塚 武志 副学長

清水 一彦 人間総合科学研究科長

本澤巳代子 社会・国際学群社会学類長

庄司 一子 人間学群教育学類長

引き続き、波多野副学長から、10 月 9 日(木)開催の第 17 回運営会議において設置された人間総合科学研究科の大学教員の懲戒に係る調査委員会について、当該教員は既に退職しているが、処分の量定が退職金の取扱いの判断基準にもなることから、調査委員会において引き続き事実の確認及び処分の量定の検討を行い本法人としての決定を得ることとする旨の報告があった。

最後に、学長から、評議員に対して、所属の教職員に対し法令遵守について周知徹底し再発防止に努めるよう改めて指示があった。

2～6 報告資料2～6に基づき、それぞれ報告があった。

7 附属図書館長から、中央図書館の第二期耐震改修工事に伴い、同図書館3階及び4階の図書を1階及び2階に移動させる必要があることから、移動作業を行う3月7日～4月6日の間は当該図書の利用が規制されることとなる旨の報告があり、併せて当該作業への協力要請があった。

8 田中副学長から、追加資料1に基づき、「会計経理の適正な執行に係る点検マニュアル及びチェックリスト」に基づく会計経理事務の再点検への協力要請があり、併せて、会計経理の適正な執行により一層努めてほしい旨の発言があった。

9 追加資料2に基づき報告があった。

【議事における意見等】

〔報告〕

4 学長から、世界大学ランキングに一喜一憂する必要はないが、同ランキングは留学生が大学を選ぶ際の指標になる場合もあり得るので、全ての分野の評価で200位以内に入る等の目標を立てるなどして、教育研究力の向上に努めていく必要がある旨の発言があった。

以上